

2025 年度

学校推薦型選抜(公募制)
社会人等特別選抜

小論文試験問題



看護・医療・リハビリ・栄養・スポーツ・福祉の総合大学

新潟医療福祉大学

次の課題文と図表を読んで、設問に答えなさい。

「馬の命を使い捨てにするな」「天罰が下れ」。今年5月、三重県桑名市の多度大社で行われた「上げ馬神事」で、馬の1頭が坂を走る途中で転倒して骨折し、殺処分されたと報じられると、大社に抗議が殺到した。県には神事の廃止などを求める5万筆以上のオンライン署名が提出された。

上げ馬神事は、陣笠に袴姿の若者を乗せた馬が急坂を一気に駆け上がった後、頂上で高さ約1.5メートルの壁越えに挑み、成功した回数で作物の豊凶を占う。700年近く前の南北朝時代に始まったとされ、県無形民俗文化財に指定されている。

由緒ある行事だが、参加者が馬をたたいたり蹴ったりしたことが問題視され、1990年代後半から再三、動物愛護団体の抗議を受けていた。2010年と14年にも計3頭が骨折で殺処分される事故があり、県教育委員会は今年8月、県文化財保護条例に基づき改善を勧告。11年に続く2回目の勧告となった。

大社側は来年以降、坂の勾配を緩やかにし、壁を低くするなどの対策をとる。権禰宜のKさん（54）は「世間の声を真摯に受け止め、時代に合った安心安全な神事にしたい」と話す。

動物をみだりに殺傷・虐待することは動物愛護法で禁じられており、違反すれば、5年以下の懲役などの罰則がある。環境省の担当者「地域に根付いた伝統であれば、動物を使っても正当な目的があると言える」としながらも、「社会通念で容認される範囲を超えていれば、虐待に当たる可能性がある」と指摘する。

漁漁や航海安全を祈願して舟で競漕する沖繩県糸満市の初夏の伝統行事「糸満ハーレー」では、地元若者らによる「アヒル取り競争」が同法に違反するかどうかで、主催者と動物愛護団体が激しく対立している。

競争では海に放たれたアヒルを参加者が泳いで追いかけ、素手で捕獲後は持ち帰り、主に食用とする。市教委によると、ハーレーは18世紀の琉球王国の文献に記録が残され、アヒル取り競争も同時代に中国から伝来したとみられるという。

かつて参加者が首や羽を乱暴につかんだこともあり、県動物愛護管理センターが18年、生きたアヒルの使用を再考するよう求めた経緯がある。NPO法人「アニマルライツセンター」（東京）は今年の参加者や主催者の代表ら計3人が同法に違反したとして、県警に告発状を提出。代表理事のO氏は「恐怖や苦痛を与えた上で殺すことは倫理的に許されない。伝統行事でも時代に合わせて改善すべきだ」と主張する。

だが、ハーレーの運営方針を決める行事委員会は8月、来年もアヒル取り競争を継続すると決めた。委員のひとり「アヒルは糸満では食文化のひとつ。青少年が海になじむことを目的とした地域の大切な文化で、動物虐待との批判は心外だ」と一歩も譲らない構えだ。

出典：読売新聞 2023年9月27日 「伝統祭事に虐待批判…三重「上げ馬」事故で殺処分・沖繩「糸満ハーレー」でアヒル捕獲」

1

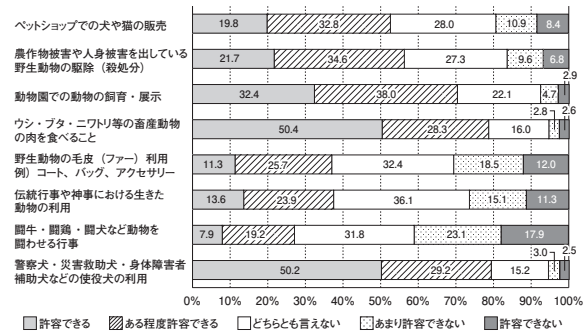


図1 動物の利用への許容度

注1）アンケートの回答者は3,096人。
注2）図中の数字は百分率（％）を示す。
注3）図中の数値は小数第2位を四捨五入しているため合計が100%にならない場合がある。

表1 賛否が分かれる論点における男女別の回答数

		許容できる	ある程度 許容できる	どちらとも 言えない	あまり 許容できない	許容できない
毛皮ファー利用	男性	229	428	525	225	141
	女性	120	368	479	349	232
伝統行事利用	男性	283	418	549	178	120
	女性	139	321	a	b	c

注）単位は人数。男性、女性ともに1,548人ずつ（計3,096人）が回答。

表2 男女別の動物の各種利用への許容度の平均値の比較

	ペット ショップ 販売	鳥獣被害 捕獲駆除	動物園 飼育展示	畜産動物 肉食	毛皮利用	伝統行事 動物利用	闘牛や 闘犬	使役犬 利用
男性	2.48	2.28	2.07	1.75	2.76	2.63	2.95	1.77
女性	2.62	2.62	2.09	1.83	3.13	3.10	3.53	1.80

注）表中の数値（許容度の平均値）は、許容できる＝1、ある程度許容できる＝2、どちらとも言えない＝3、あまり許容できない＝4、許容できない＝5として、回答者の平均値を算出したもの。

出典：打越綾子「一般市民は動物実験をどう見ているか（詳細版）」——科研費プロジェクトによる動物実験に関わる市民意識調査報告——

2

【設問1】

次の（1）～（4）の 1 ～ 8 にあてはまる数字を答えなさい。解答は小論文試験[設問1] 解答用紙の解答記入欄にマークしなさい。問題冊子に記入したものを解答として提出することはできない。

（1）「図1. 動物の利用への許容度」の「伝統行事や神事における生きた動物の利用」において、「ある程度許容できる」と回答した割合と「あまり許容できない」と回答した割合を比較した場合、その比率は何対何になるか。「あまり許容できない」と回答した割合を1として求めなさい。なお、計算結果は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの値を求めなさい。

「ある程度許容できる」と回答した割合と、「あまり許容できない」と回答した割合の比は 1 . 2 : 1である。

（2）「表1. 賛否が分かれる論点における男女別の回答数」の「毛皮ファー利用」において、「許容できる」と回答した女性の人数は、全体3,096人のうちの何％であるか。なお、計算結果は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの値を求めなさい。

「許容できる」と回答した女性の人数は、全体3,096人のうちの 3 . 4 ％である。

（3）「表1. 賛否が分かれる論点における男女別の回答数」の「伝統行事利用」において、「許容できない」と回答した女性の人数を表すcの値は何になるか。その値として最も適当なものはどれか答えなさい。

1. 230（人）
2. 350（人）
3. 467（人）
4. 570（人）

上の1～4のうち、cの値として最も適当なものは 5 である。

（4）「表2. 男女別の動物の各種利用への許容度の平均値の比較」において、男性の許容度の平均値が最も大きい値と、女性の許容度の平均値が最も小さい値を比較した場合、その差はいくらになるか。

男性の許容度の平均値が最も大きい値と、女性の許容度の平均値が最も小さい値の差は 6 . 7 8 である。

3

【設問2】

「伝統行事や文化を守ることよりも動物愛護や動物の福祉を優先すべきである」という考え方に対して、あなたは賛成または反対のいずれの意見を持つか？

解答用原稿用紙にある「賛成する」または「反対する」のいずれかの〔 〕内に○印を記入し、課題文や図表を参考に、あなたの意見を550字以上、700字以内で記述しなさい。ただし、記述の中には、以下の3つの項目が必ず①②③の順番で含まれるようにすること。

- ① あなたが賛成または反対する理由
② あなたと逆の立場をとる人が、賛成または反対する理由として予想されること
③ ②で予想した理由に対するあなたの反論

なお、賛成・反対のどちらの立場をとるかは採点に全く影響しない。

4

[illegible]

〔 〕「賛成する」 〔 〕「反対する」

This image shows a full page of graph paper. It features a uniform grid of small squares across the entire area. On the right-hand side, there is a vertical axis with numerical labels at intervals of 100, starting from 100 at the top and ending at 700 at the bottom. The labels are 100, 200, 300, 400, 500, 550, 600, and 700. The rest of the page is left blank for drawing or plotting.